

後立山リレー登山 B-2

白馬三山山行実施報告書

2011年7月30日 報告者:長谷川洋文

山行名	白馬岳・杓子岳・白馬鑓ヶ岳 [2932.3 2812m 2,903m] 長野県/富山県				
実施日	H23年7月23日(土)～24日(日) 1泊2日 自家用車利用				
天候/参加人員	天候:23日曇り時々晴れ 24日曇り時々晴れ後雨 参加人員:2名(男1名/女1人)				
パーティスタッフ	CL/計画/会計: SL/救護: 氏名削除				
参加メンバー	B2班 氏名削除				
費用	車使用料@10×550=¥5,500、燃料代@152×550/8=¥10,450、ドライパー謝礼@5,000×2=¥10,000、 高速料金:(相模湖⇄豊科)¥1,650×2=¥3,300、宿泊代(白馬山荘弁当付) ¥10,100×2=¥20,200 合計¥49,450				
歩行・行動時間		歩行時間	休憩時間	行動時間	行動時間比(実行/計画) 0.92 歩行時間比(実行/計画) 0.86 歩行時間比(実行/ガイドブック) 1.19
	計画	20:45	3:00	23:45	
	ガイドブック	15:00			
	実行	17:55	3:50	21:45	

実行コースタイム記録

◆ 7/23(土) [行動時間 9:25/歩行時間 7:05/ガイドブック 6:15]

中央高速/長野自動車道 R147R148 県道322 1:25	0:15	1:50	0:10
厚木==相模湖 IC==豊科 IC==猿倉駐車場-----白馬尻小屋-----大雪溪入口-----大雪溪出口-----			
(7/22)22:30 23:30 2:45 4:30 5:10 6:35 6:50 7:05 7:10 9:00 9:10			
0:30 (昼食) 0:10 1:35 20 30 20			
---岩室跡-----小雪溪下-----小雪溪-----白馬岳頂上宿舎-----白馬山荘-----白馬岳頂上-----白馬山荘(泊)			
9:20 9:50 10:25 10:35 12:10 12:30 12:50 13:20 13:50 14:15 14:35			

◆ 7/24(日) [行動時間 12:20/歩行時間 10:50/ガイドブック 8:45]

2:05 1:25 (昼食) 0:20 2:35 2:00 2:25			
白馬山荘-----杓子岳-----白馬鑓ヶ岳-----分岐-----鑓温泉小屋-----サクロ-----猿倉==			
5:50 7:55 8:05 9:30 10:15 10:35 13:10 13:30 15:30 15:45 18:10			
==豊科 IC==相模湖 IC==厚木			
9:30 (7/25)0:45 1:45			

コースの概要、特記事項、反省事項等

迷走して日本の周りをうろうろしている台風6号の影響で、登山口までの途中小雨が降っているところがあったが、猿倉の駐車場では、雨は降っていなかった。猿倉の駐車場は、4:30の到着時には、残り10台ほど、出発時の5:10には、ほぼ満車であった。猿倉荘前で準備を整え登り始める。しばらく歩いて一番初めに会ったお花はシラネアオイであった。前回来た時より、花が小さく少ない。時期が少々早かったか?猿倉から1時間半ほどで白馬尻小屋に到着する。ここは、ちょうど雪溪からの風が吹き抜けるためか、とても寒い。急いで上着を着るが、歩き始めるとすぐ脱いでしまった。そこからすぐに大雪溪に掛かるが、今年は例年より雪が少ないようだ。葱平まで直接雪溪を登れず、途中脇にそれて秋道(道悪)を行く。雪溪が終わり、疲れてお腹も空いたので、少々早いですが、葱平上部で昼食を取っていると、片付け始めたころ、B1チームの方々と会う。B1の方々も其の辺りで昼食をとるとのことなどで、先に出発し小雪溪を渡る。小雪溪を渡り終えると、そこは、ミヤマキンポウゲを中心とした一面のお花畑であった。様々な高山植物が咲いていたが、あまり花には詳しくないので、解説は他のチームの方にお譲りする。お花畑の終わり頃にまたB1チームに追いつかれ、白馬山荘には一緒に到着する。山小屋の手続きを終えた後、皆で白馬山頂上へ向かう。白馬の頂上は360°の展望で大変素晴らしい。少々雲があり、あまり遠くまでは見渡せなかったが、景色を充分堪能することができた。山小屋に戻った後はレストランスカイプラザで、辛党は生ビール(900円)甘党はケーキセット(850円)を頂きながらレストランよりの眺望を楽しんだ。

2日目は5:50にB1、B2一緒に出発する。途中休憩をはさみながら2時間ほどで杓子岳に到着する。この辺りには、かわいいコマクサが群生しており、眺望もなかなかだった。そこから鑓ヶ岳は以外にすぐだったように思える。劔岳を始め立山の山々を見ながらの雄大な昼食となった。途中鎖場など少々危険なところもあったが、予定より早く鑓温泉小屋に着く、ここでB2チームはB1と別れ、予定を繰り上げ下山することにする。ガイドブックでは、下り3時間半で楽勝だと思われたが、けっこう上り下りがあり、また雪溪がだいぶ残っていて、慎重に下りた為、けっこう時間を食ってしまった。途中眺望はあまりなかったが、ニッコウキスゲがちょうど満開で、飽きずに下山することができた。

今回は十五周年記念登山リレーという事で、白馬岳のコースに参加させていただきましたが、雪溪も眺望もお花も十分に堪能でき、大変心に残る山行になりました。次回20周年に向けて、これからもまたがんばって行きたいと思っております。